

太陽光発電設備への農地転用について

★地元区、地元住民等と事業についての事前調整を必ず行ってください。

【必ず農地転用の申請前に各条令等の調整を行ってください。】

条令に基づく「事業計画書」の提出を行った上で、農地転用申請を行ってください。
詳しくは、担当課にご確認ください。その他、案件により調整が必要な場合があります。

・新城市太陽光発電設備の設置手続きに関する条令に基づく届出手続き

(担当：環境政策課 電話 0536-23-7690)

太陽光発電設備（ソーラーパネル）に係る添付書類等について

・候補地の検討表

(転用者（譲受人）の住所地方面で1～2筆程、新城市内にて1～2筆程検討してください。検討地は農地以外、または2・3種農地としてください。検討地に農用地（色地）、1種農地は含まないでください。検討表の必要事項は、地番、地目、面積、検討結果（予算での理由は不可）です。様式は自由です。)

- ・中部経済産業局の認定通知書の写し、又はその申請書（添付書類を含む。）の写し
- ・中部電力との売電契約をするために相談している経過をまとめた書面
- ・事業計画書（通常の様式。施設の管理方法など事業の詳細を踏まえて記入ください。※裏面参照）
- ・必要に応じて資金証明書及び収支見込みが分かる書面
- ・法人の登記事項から発電事業が読み取れるか（※法人の場合）
- ・発電収支計画表
- ・発電される電力量を説明する資料（ソーラーパネルについて説明のあるパンフレット、パネルの設置数など）
- ・申請の内容によっては、追加でその他の書類等を求める場合があります。

《確認事項》

- ・パネルの規格構造等によっては、都市計画法等の開発許可等が必要になる場合があります。

(担当：都市計画課 電話 0536-23-7640)

愛知県東三河建設事務所 建築課 電話 0532-52-1315

- ・建築課による駐在相談日 毎週火曜日 場所：市役所都市計画課窓口)

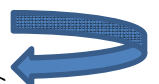
- ・土地改良区の受益地の確認は、関係土地改良区へご確認ください。

(旧新城市地区：・新城市土地改良区 電話 0536-22-1775

・豊川総合用水土地改良区 電話 0533-56-2711)

(旧作手村地区：作手村土地改良区 電話 0536-37-2289 (新城市作手総合支所内))

裏面へ



《申請書作成時の注意事項（※申請書『その他参考となるべき事項』欄へ記載）》

- ・ 周辺耕作者への説明及びその結果を記載
- ・ 周辺住民への説明及びその結果を記載

《事業計画書作成時の注意事項（※事業計画書『その他』欄へ記載）》

- ・ パネルの出力、年間発電量、パネル杭の深さ、フェンスの高さ、パネルの耐久風速を記載する。
（風圧加重について、国の省令等で地域別に設計用基準風速が定められています。この基準で新城市内で設置する場合、基準風速 30m/s を満たしている必要があります。）
- ・ パネル設置後の日常管理、定期点検、草刈り等についての管理体制を記載する。

《土地利用計画図面等に記入または添付資料作成時の注意事項》

- ・ 方位および縮尺明記し、出力、パネル数、電柱および電源室等も記入する。
- ・ パネルから電線接続等に至る経路など詳細もを図示する
- ・ パネルの耐久風速を記入
- ・ 周囲を囲うフェンスの位置及び範囲を図示
- ・ 雨水について、雨水が流れる方向を矢印で記入し、自然浸透の場合でも、大雨時に吸収できない場合の措置についても記入する。

《立面図の作成時の注意事項》

- ・ パネル及び設置土台の立面図（各寸法、方位、勾配等を記入）および平面図（各寸法等も記入）
※設置土台の基礎についても詳細を記入
※必要に応じ、「地下〇〇cmに支柱を埋め込み、コンクリートで固定する等の説明を付記する
- ・ 設置するフェンスの立面図（各寸法、材質等を記入）
※ベースを複数枚連結して囲う場合は、一区切りについて作成し連結する旨記入
※フェンス設置土台の基礎についても詳細を記入

《発電収支計画表について》 ※既存の資料がない場合の作成例

「1時間あたりの発電量」、「1kwあたりの買取価格」「何年で収益でるか」等記載のこと（下記参照）

【作成例】※既存の収支計画書等がある場合はその添付でよい。

1時間あたりの発電量(kw) × 始動時間(日) × 太陽光発電可能日(年間) = 年間発電量(kw)
年間発電量(kw) × 1kwあたりの買取価格 = 年間売買価格

耐用年数〇〇年(〇〇年後)

年間売買価格 × 〇〇年 = 収入〇〇〇〇万円・・・(A) -①

必要経費 当初〇〇〇〇万円・・・(B) ←申請書記載の事業費合計金額

その後の経費 年間賃借料〇〇万円・・・(C)

メンテナンス・管理費 年間〇〇〇万円・・・(D)

上記より

(B) + (C+D) × 〇〇年 = 支出〇〇〇〇万円・・・(E) -②

①・②より

(A) - (E) = 収益〇〇〇万円